

～新入生の皆さんへ～

2021年4月2日

大阪電気通信大学 学長 大石 利光

晴れの入学式にあたり、新入生の皆さま並びにご家族・ご関係者の皆さまに心からお祝い申し上げます。

改めまして新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。本日、入学式の会場で皆さんとお会いできることを楽しみにしておりました。新型コロナウイルス感染症対策として一同に集うのではなく、本会場ではそれぞれの代表が、そして他の皆さんには別々の部屋でインターネット中継を介しての入学式になりましたが、大阪電気通信大学は全学をあげて皆さんを歓迎いたします。

本学は開学以来、実学教育、人間力と技術力を兼ね備えた人材の育成に取り組み、今日まで60年の歴史を刻んでまいりました。これまでに5万5千人を超える卒業生を送り出し、多くの方々が現在社会で活躍されておられます。皆さんは今日から大阪電気通信大学の一員としてそれぞれのキャンパスで大学生活を送っていくこととなります。今は新たな学びへの期待と不安に胸を膨らませていることと思いますが、大学ではこれまで身につけた力をベースに、より幅広くより深く、より専門的にそれぞれの研究科、学部学科で学び、大学院生は2年後、学部生は4年後、全員が笑顔で卒業式を迎えてほしいと思います。

また、今年度も新型コロナウイルス感染症の関係で普段と違い、遠隔授業と面接授業の併用となりますが、遠隔授業においても面接授業同様の質を担保し、学内でしっかりとした感染症対策を行い、皆さんが安心して大学生活を送れるように教職員一同、全力をあげて取り組んでまいりますので新入生の皆さんもぜひ、健康に留意しながら日々の生活を送っていただきたいと思います。

さて、本日から新たな大学生生活がスタートする皆さんに私からふたつ、アドバイスを送りたいと思います。

実は私は九州の離島で生まれ、15歳の時に身ひとつで故郷の島を出て大阪の会社に就職しました。そして、会社の寮に入り、昼は仕事、夜は学校に通う勤労学生でした。朝8時から夕方5時まで仕事をし、その後学校に行って授業を受ける。授業が終わったらクラブ活動に参加し、6人部屋の寮の部屋に帰るのは毎日夜11時過ぎ。そんな学生生活でした。ですので、青春時代のいちばん重要な時期に本を読むことが少なかったのです。後になって、本を読んで得られる知識や気づきが自身の人生にどれだけ役に立つのかを痛感しました。

そこで、皆さんに最初に送りたいアドバイスは「本を読もう」です。億万長者のジム・ローンも言っています。「1週間に1冊の本を読めば1年で52冊の本を読むことになる。10年では520冊。そのころにあなたは自分の分野で上位1%の地位にいるだろう」と。

今はスマホで検索すれば簡単に情報を得られる時代になりましたが、人間の能力は活字の読解力に比例するそうです。1週間に1冊の本でいいのです。ぜひ、本を読むように心がけていただきたいと思います。本学の図書館には専門書を含め多種多様な本が28万冊用意されています。ぜひ図書館を積極的に活用して、本を読むように心がけていただきたいと思います。

ふたつ目は「自分の目指す夢を見つけてほしい」ということです。すでに目指す夢が明確に決まっている人はその夢の実現に向けてどんどんと進んでいってほしい。まだ見つかっていない人は本学で学ぶ間にぜひ夢を見つけてほしいと思います。

私の好きな言葉に吉田松陰の「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実

行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」という言葉があります。大学で学ぶのは学問だけではありません。一生一緒に過ごす友だちと出会う場にもなれば、これから目指す夢を見つける場にもなります。自分の本当の夢を見つけるのは難しいことかもしれません。ですが、夢を持たずに人生で成功をおさめることはできません。皆さんにはぜひ、在学中に自分の夢を見つけたいと思います。そして在学期間中には真剣に勉学に取り組んでいただきたい。真剣に学ぶことで自分は何をしている時が一番楽しいのか、また何をしている時が自分に向いているのか、どんなことに興味があるのか等々が見えてきます。それらが自分の夢を明確に見つけることにつながります。

人間がただひとつ、自由自在にコントロールできるのは未来です。その未来を助ける人、それは今のあなたたちです。本学での在学期間を皆さんがどのように過ごすかでこれからの未来が変わってくると思います。

本日入学された皆さんお一人お一人が大きな夢を持って本を読んで、学んで、そして良き出会いを得て楽しい充実した大学生活を送られることを願い、私からの告辞とさせていただきます。

皆さん、本日はご入学誠にありがとうございました。